

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年3月2日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社レゾナック

（令和5年1月1日（以下「移行日」という。）をもって、昭和電工株式会社が持株会社体制に移行することに伴い、昭和電工株式会社は、管理部門を除く全事業を自己の子会社である昭和電工マテリアルズ株式会社へ吸収分割することで承継し、その移行日をもって、昭和電工マテリアルズ株式会社は株式会社レゾナックに商号を変更した。）

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：令和4年1月

終了時期：令和6年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

パワー半導体は電気を用途に合わせて変換することで、機器類のエネルギー効率を改善する素子です。現在の主力はシリコン製ですが、炭化ケイ素(以下、SiC)はシリコンと比較して優れた物性値を持ち、高耐圧、大電流、高温動作、低損失、小型のパワー半導体の素子を実現することができ、省エネ・低消費電力化のキーパーツとして期待されています。

本事業では省エネ効果の高い SiC エピウェハーの生産・出荷検査能力を拡充し、市場への供給を増やすことで、国内の CO2 排出量削減に貢献していきます。

このうち、令和5年度においては当初の計画通り、SiC エピウェハーの生産関連装置を導入し、その多くが事業の用に供しました。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

基準年度から令和5年度までの、SiC エピウェハーの売上高伸び率は、当初見込みを下回る実績となりました。ただしこれは、基準年度である令和3年度の売上高が計画申請時の見通しよりも増えたためで、売上高総額は、当初見込みと同等となりました。

（３）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和５年度は有利子負債／CF は目標に対して改善、経常収支比率は、目標水準並みとなりました。

（４）実施した事業適応計画の内容

令和５年度の法人税申告の際に、計画したエネルギー利用環境負荷低減事業適応による税制控除を受けています。

以上